

I 学校教育目標

1. 真理を探究し 科学的創造的な思考を深め 自主的に学ぶ態度を養う
2. 人間の尊さを知り 豊かな情操を育てる
3. 生命を尊重し 明朗で 健康な心身を育てる
4. 強い意志を育て たくましく 実践力を養う

人間尊重を基盤とした平和社会をつくるために

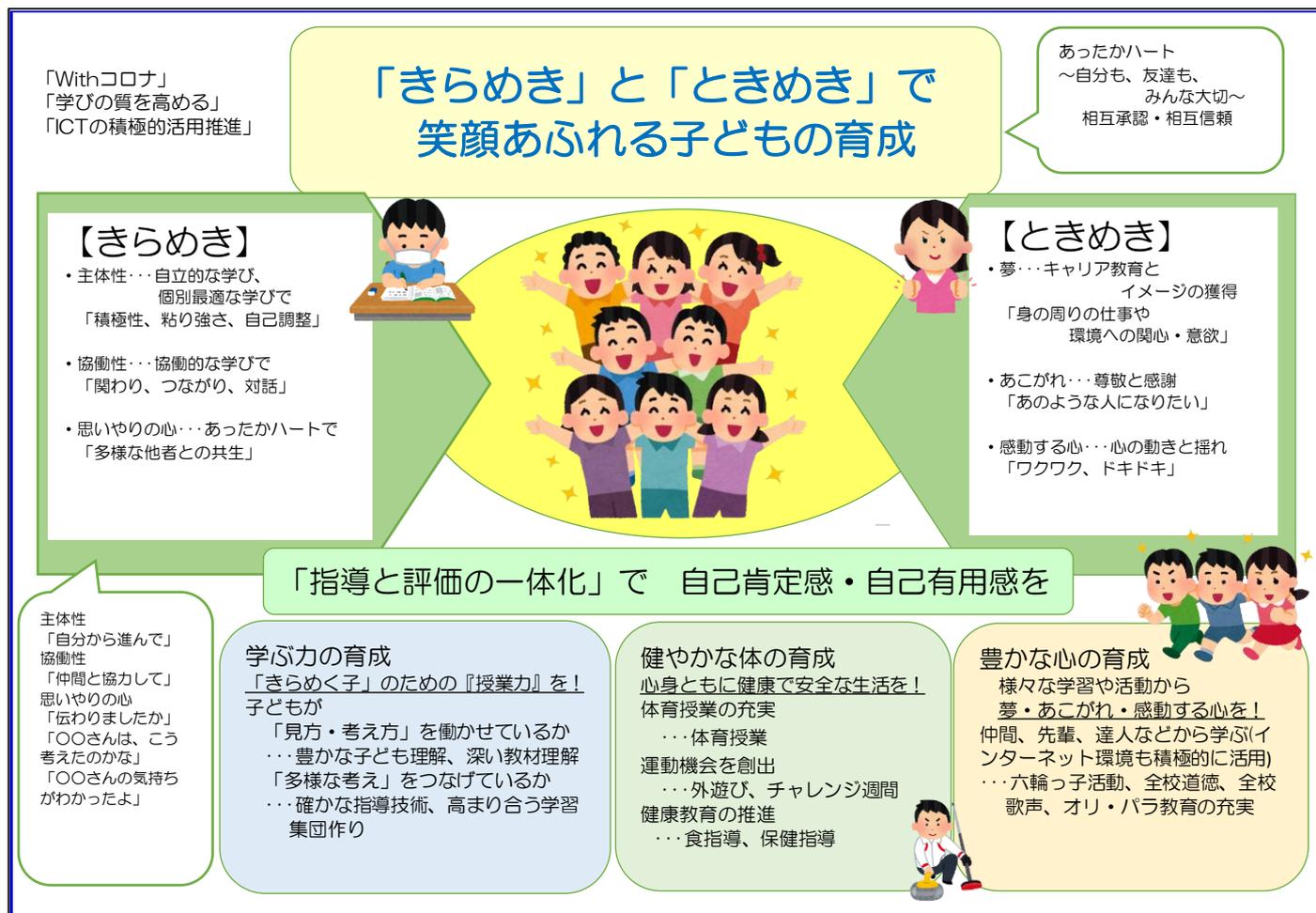
『人間性に富み 創造性豊かで 主体性の高い人格の育成』をめざして
教育目標の設定にあたり そこから子どもたちのめあてとして 次のように集約した
<子どもたちのめあて>

- 「深く考える子」 … (知) 進んで学び 深く考える子
- 「心豊かな子」 … (徳) 美しさがわかり 仲よく助け合う子
- 「からだをきたえる子」 … (体) 心身ともに健康な子
- 「最後までやりぬく子」 … (意) ねばり強く努力する子

II 学校経営の基本方針

- 1 温かく確かな目で子どもをとらえ、個に合った教育活動の展開に努める。
・「主体的、対話的で深い学びの実現」 ・「一人一人のよさや可能性の伸長」
- 2 学習指導要領に基づく特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。
・「6年間および9年間の育ちを見通したカリキュラム・マネジメント」
・「PDCAサイクルを活用した学校評価」
- 3 保護者や地域に開かれた学校づくりに努める。
・「地域を生かし、地域に開かれた教育課程づくり」
・「幼保小連携、小中一貫した教育の推進、高校との連携」
- 4 安全・安心でさわやかな教育環境づくりに努める。
・「実効性のある危機管理」 ・「積極的な情報発信による信頼される学校づくり」
- 5 全教職員が報告・連絡・相談・確認を大切にし、相互信頼と協働によって潤いと活力のある学校づくりに努める。
・「組織の活性化と信頼関係づくり」 ・「働きがい重視した働き方の見直し」

Ⅲ 今年度の重点目標



☆体育の授業を柱とし、休み時間などを積極的に活用した運動の日常化

☆健康・安全・食育教育の体系的、組織的な指導

5 特別な支援の必要な子に応じた指導の充実

☆学びの支援委員会を中心とし、学びのサポーターや SC も含めた組織的な対応

☆TT や少人数指導、算数に一ごプロジェクト等の積極的活用

6 安全・安心を基盤とした家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

☆積極的な情報発信による信頼関係の構築

☆実効性のある訓練やマニュアルを活用した危機管理対応

V 学校経営の具体的方策

1 創意と活力にあふれた教育課程の編成・実施・評価・改善

○「札幌らしい特色ある学校教育」…「雪・環境・読書」の更なる推進

○学習指導要領に基づく教育課程の推進、指導内容の研修

○「地域に開かれた教育課程」…地域を学び、地域に働きかける

・生活科、総合的な学習の時間の充実（体験的な活動と探究的な学習の重視）

2 楽しさと温かさにあふれた学年・学級づくり

○学年担任としての学年経営計画の作成と共有、保護者への積極的な説明

○子どもの居場所づくり・よりよい集団づくりを進め、友人や仲間関係から、自己肯定感や自己有用感を高める（「あったかハート」で相互承認の感度を高める）

○学年研修の充実～協働と分担（教科・行事）

・教材研究、授業づくり等～週案の作成と提出 ・行事への計画的な取組

・コロナ禍における参観授業の計画的な実施と懇談の工夫

3 一人一人を大切にした学力向上の取組と「授業によって『きらめく』子どもを育てる」ことを目的とした校内研究・研修の充実

○子どもが自ら進んで取組む姿勢の確立と個別指導の工夫と充実

・見方・考え方を働かせ、多様な考えをつなげる

課題探究的な学習の推進 …「深い学び」

・体験的な学習の充実 …「豊かな学び」

・少人数指導の計画的実行、TTの積極的活用

算数に一ごプロジェクトの活用 …「確かな学び」

- 子ども一人一人の学習状況把握とそれを基にした指導計画作成と指導方法の研究
…自律的な学び
- 基礎・基本の習得、思考力・判断力・表現力と知識及び技能の育成、学びに向かう力、人間性などを目指した授業の確立 …個別最適な学びと協働的な学び
- 学びの足跡、考えた過程が表れるノート（ワークシート）の指導、指導と評価の一体化

4 一人一人の教育的ニーズに応じ、自立をはぐくむ特別支援教育の実施

- 深い児童理解に基づいた個別の教育支援計画および指導計画の作成
- 地域・各関係機関・異校種・学校段階等間（幼稚園・保育所、中学校）との接続・連携
- コーディネータの複数配置による円滑で機能的・組織的な支援体制の確立
- 校内学びの支援・いじめ防止委員会と児童理解のための交流会の定例化
- 児童・教職員や保護者の発達障がいに対する理解の促進（研修、学校便り等）
- 合理的配慮による学習活動の充実

5 『きらめき』や『ときめき』を育む特別活動の実施

～行事・児童活動・集会活動の工夫

- 学校全体・学年全体としての生き生きとした集団づくり
- 主体性、協働性、思いやりの心を育てる活動の工夫…『きらめき』
- 夢、あこがれ、感動する心をもたせる活動の工夫…『ときめき』
- 目標（めあて）の明確化と共有、指導と評価の一体化
- 防災教育の充実（判断力の育成
…避難訓練・みまもり登校・集団下校・引き取り下校訓練）
- 児童自ら進んで体力・健康増進ができる環境づくり
（チャレンジ活動への意欲化、カードや日常の遊びの工夫と見取り・看護）

6 全教育活動を通じて行う道徳教育と心のかよう生徒指導の実施

- 道徳の年間指導計画に基づいた実践と行事・特別活動との連動
- 「特別の教科 道徳」における教材研究と授業展開の工夫、評価
- 道徳教育推進教師による道徳的な素材の提供と実践例の提示
- 規律ある生活習慣の確立と保護者への啓発活動（あいさつと正しい言葉遣い）
- 多様な他者との共生を目指した豊かな心の育成

7 保護者、地域住民との望ましい関係づくり

- コロナ禍における保護者と教職員との信頼関係に基づいた参観・懇談会、PTA活動等の実施、在り方の検討
- 学校行事、地域行事への相互参加と保護者・地域住民の教育力の活用～G T
- 学校評価、学校関係者評価、保護者アンケートの効果的な活用
- 積極的な情報発信～「共に子どもを育てるために…」学校便り、学年便り、HP

8 学校の組織力を高める役割分担の確立

- 分掌組織の機能的運用と一人一役制の確実な業務の遂行
- 責任をもって提案されたことを協力して実施する職員集団
- 全職員の協働による創造的な教育活動づくり（「チーム幌東」）

9 開校50周年（令和6年度）までの長期的な展望

- 北校舎のリニューアル工事～令和4年度（2か年計画 最終年度）
- 新型コロナ、リニューアル工事に伴う教育実践発表会実施時期の見直し
教育実践発表会実施～令和5年度
- 開校50周年記念式典・祝う会～令和6年度

10 その他

- 若手教員、ミドルリーダー育成のための実践的な取組（研修の充実）
- 危機管理、情報管理意識を高める取組（実効性や安全面に力を入れた取組）
- 家庭との連携…家庭学習の習慣化、生活習慣の見直し、「まほうのかいわ」
- 管理職・担任外教諭による分掌・特別委員会・学年のサポート体制の確立
（緊急時にも柔軟に対応できる組織づくり、専科指導の実施）
- 性的マイノリティ等にも配慮した、差別のない教育環境づくり
- 「働き方改革」の推進（メンタルヘルス、業務内容、会議等の精選、業務の平準化、勤務時間の管理と見直し、ノー残業デー、定時退勤日の実施、計画的年休習得の実施、業務効率化につながるICT活用の検討）
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する様々な対応
（感染防止対策を施した行事等の工夫、withコロナにおける学習活動の工夫）
- 1人1台端末の更なる積極的活用
（教職員の研修の実施、ICTの日常的な活用に向けた積極的な実践）